

文教経済 委員会

重点調査項目 産業振興条例制度後の地元企業振興策

行政視察先 奈良県奈良市 富山県高岡市

【目的】
産業振興に係る条例及び計画のあり方、観光と伝統文化などの先進的な取り組みの事例を調査・研究するため視察しました。

【特徴】

・奈良市文化振興計画

奈良市は文化の力をまちづくりに活かす「文化振興条例」を策定済みです。条例に基づく具体的施策を推進計画としてまとめられています。「文化の継承への意欲を呼び起こす」「生活の中で文化をはぐくみ伝える」「生きがいのある生活でまちを元気にする」この3点を計画の目指す姿としています。特に進捗状況を評価するシステムで進行管理しているのが特徴です。

・奈良市観光交流推進計画

観光は奈良市の大きな経済基盤と位置づける中で、基本的な方向性、事業の取り組みと方針を定めています。課題の整理から目指す観光の姿を描き、行政の果たす役割を明記するとともにその到達度を検証する体制をとっています。観光戦略課が担当しています。

・高岡市産業振興ビジョン

新たな成長分野への進出支援と誘導、並びに北陸新幹線開業を見据えた観光拠点化等を核とする産業振興ビジョンは、高岡市産業界の将来イメージを明示するとともに、具体的な目標数値設定と国・県も含めた官民の推進体制を組み立てています。ものづくりとデザインに軸足を置いているのも特徴で、農業については6次産業化のみを取り上げています。産業企画課が担当しています。

【反映】

奈良市の二つの計画は

高山市にはない計画であり、伝統文化を生かすまちづくりやまちなみ保存と観光といった面で、これから高山市でも見習いたい視点でした。

「高岡市産業振興ビジョン」については、非

常に明確な将来都市像のもと5つの基本方針を打ち立て、その施策の方針や具体的施策に言及している点が、高山市の産業振興計画の対極にあると見えました。

その後、事前調査担当者による調査結果報告をもとに議員間で自由討議を行い、今回の視察の総括を行ったところです。



高岡市金屋町のまちなみ

分野別市民意見交換会から

流通に課する諸問題への対応

【目的】

公設卸売り市場使用料減免と、今後の施設運営について意見交換を行いました。

【経過】

・標記の課題について市場関係者からの要望に基づき、7月2日市場管理棟において現状調査、及び意見交換しました。

「事前調査内容」

- ・高山市公設市場取扱高の推移、並びに地場産野菜果物取扱高の推移
- ・高山市小売販売額等の推移と地域の所得動向
- ・卸売市場をめぐる情勢、卸売市場再編の推進

(農水省総合食料局編)

- ・高山市公設卸売市場会計決算書及び施設振興公社決算書(市場使用料、一般管理費、役務費、指定管理料等の推移)
- ・卸売市場法及び高山市関連条例「現況と調査経過」
- ・流通形態が変化する中で、取扱量、取扱高ともに最盛期の7割以下に落ち込んでいる状況では、今後の施設運営や施設の維持更新にも多大の影響が考えられます。特に市場の荷受2社の問題ばかりでなく、買受人や生産者とともに地域の重要課題と捉えています。特に3月の東北大地震後の観光への影響は大きく、卸売市場への影響も深刻で、特に市場使用料の減免を農務課へ要望している状

況です。4月からの納入についてはその協議が整うことを前提に調整中であるとの説明を受けました。

事前の調査でも地域の所得動向、小売環境の変化や、農林水産省の市場再編への考えなどから、何らかの対応を迫られている問題として認識。担当課から当面3ヵ年の市場使用料の減免方針について説明を受けたところです。補正などで対応することになります。

【意見交換から】

根本的な対応策については、今後3年間かけて検討していくことになっており、委員会としても**一歩踏み込んで調査**するとともに、荷受2社の皆さんとも、今後話し合いの場を持つ方針です。